

大阪国際フォーラム

第6期（平成26年度）事業報告書

平成27年5月18日

国際交流都市大阪の更なる発展と文化の興隆に寄与するため、当フォーラムでは、昨年度に引き続き、関係団体との連携のもと関西・大阪の活性化に繋がるシンポジウム、海外のアーティストを迎えての音楽を通じての国際交流事業をはじめ、日中関係の新たな交流の道を探る取組みや、大阪の中心である中之島地域を広く紹介する事業に取り組んでまいりました。

フォーラム会員は26年度末で110名となりました。

(1) 日中交流事業

「民間交流の新たな高まり」をテーマに開催された、第14回日中友好交流

会議(9月22日～23日・リーガロイヤルホテル)に協力団体として参加し、政治的に冷え切った両国関係のなかで、これまでの歴史を踏まえ、経済や文化を通しての幅広い新たな友好交流の途を探りました。

また、南京医科大学の日本医療事情調査団の訪日を機に、中国における高齢者の介護や医療の問題について意見交換を行い、医療・介護分野における交流事業の途を探りました。

(2) 中之島国際音楽祭 2014

恒例となりました「大阪から世界へ」つなぐクラシック音楽の祭典を、5月3日にザ・フェニックスホールで開催しました。今回は、上海音楽学院の神童によるピアノ演奏、ソプラノやテノールの名手による競演並びに若きヴァイオリニストたちの^{ハーモニー}和諧により、来場者の皆さんと賑やかに開催することができました。

(3) 関西経済交流シンポジウムの開催(共催事業)

西の渋沢栄一と称された松本重太郎翁を顕彰する京丹後市のプロジェクトの一環として、関西経済交流シンポジウム(テーマ:北近畿の新たな可能性と関西経済の発展)を関連企業とともに共催事業として、1月26日にホテルグランピア大阪で開催しました。松本翁は今に続く大企業の前身となる40数社の創業・設立に身を投じ、明治期に関西実業界に君臨しました。

フォーラムの萩尾会長はトークセッションに参加し、文化をはじめ関西が持つ様々な魅力を見つめ直し、連携を深め相乗効果を上げることが重要であると提言しました。

(4) 公開講演会「地震予知に挑む」の開催(共催事業)

台湾の学者も迎え関西サイエンスフォーラムの主催で、公開講演会―地震予知に挑む―が10月29日に大阪大学佐治敬三メモリアルホールで開催され、当フォーラムも共催事業者として取り組みました。地震予知の研究がグローバルに進む中、地震の前に発生する大気中の電磁波異常の観測や成層圏の電子密度変化、GPSで地表のずれを観測するなど、最新の研究が紹介されました。

(5) 医療と産業の国際交流シンポジウム（後援事業）

（一社）医療国際化推進機構による「医療と産業の国際交流シンポジウム in 関西」が3回にわたり、大阪大学中之島センターで開催されました。世界最先端の健康医療イノベーション都市圏へ向けてのシンポジウムであり、また関西・大阪の国際交流都市としての今後のメインテーマとなることから、当フォーラムとしても後援事業として取り組みました。

- ・第5回 4月19日 テーマ：新たな国際医療産業創出へのチャレンジ
- ・第6回 10月8日 テーマ：健康長寿社会づくりと健康医療戦略
- ・第7回 2月20日 テーマ：医産学官の連携関西

(6) 高齢者福祉事業シンポジウム（後援事業）

HANAKO Seminar in OSAKA JAPAN がHANAKO ジャパン・フィンランドネットワークと（社福）隆生福祉会の主催で10月8日に大阪国際会議場で開催され、喫緊の課題である高齢者の福祉に関するセミナーであり、またフィンランドとの国際交流事業であることから後援事業として取り組みました。

ジャパン・フィンランドネットワークとは、フィンランドの国家教育委員会の承認を受けたプロジェクトのことで、フィンランドと同じく高齢化が進む日本の高齢者施設や保育施設や専門学校などの現場と交流を通して互いに役立つ情報交換をすることを目的にしたネットワークです。

(7) 中之島今昔案内

大阪の経済・文化の中心である「中之島」及びその周辺地域に、多くの人が訪れてもらえるよう、昨年度末に発刊（20万部）したハンディタイプの案内地図第4号を、駅や公共施設、長距離バス発着場などに配布しました。

また今年度は、訪日外国人に中之島周辺を広く案内するために、英語

版の「中之島今昔案内」を発売すべくその企画を進めてまいりました。
(平成27年6月 5万部発売予定)

平成26年度 収支報告

大阪国際フォーラムの平成26年度事業につきまして、下記のとおりご報告します。

収入の部	予算計画	決算額	
事業名	金額	金額	摘要
会費収入	6,500,000	6,100,000	
興行収入	1,000,000	1,648,524	中之島国際音楽祭
協賛金(広告収入)	3,700,000	600,000	中之島今昔案内
預金利息		330	
繰越金	1,938,828	1,938,828	25年度繰越金
計	13,138,828	10,287,682	

支出の部	予算計画	決算額	
事業名	金額	金額	摘要
日中交流事業	700,000	196,910	
日韓交流事業	100,000	0	
関西・大阪文化力会議	1,200,000	1,068,310	25年度事業分担金残額
中之島国際音楽祭	2,000,000	2,115,624	
中之島今昔案内発刊	3,300,000	1,801,970	
その他事業費	400,000	0	
運営事務費	3,838,828	4,581,785	
人件費	2,400,000	2,449,810	賃金、通勤手当
事務所費	800,000	874,011	事務所借上げ費、敷金
交通費	250,000	111,930	実費交通費
通信費	200,000	372,578	電話代
事務用品雑費等	188,828	773,456	備消耗品、資料送付、購読料、会議茶菓代等
借入返済	1,600,000	0	
計	13,138,828	9,764,599	

繰越金	0	523,083	
-----	---	---------	--

平成 27 年 5 月 18日

大阪国際フォーラム

会 計 寺 田 千 代 乃

監査報告書

私会計監事は、大阪国際フォーラムの第6期（平成26年4月1日から平成27年3月31日）の業務の執行について監査をいたしました。

その結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

会計監事は、事務局から業務の報告を受け、関係書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び付属書類につき検討を加えました。

2 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支報告書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 収支報告書は、法令に従い、大阪国際フォーラムの財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。

平成 27年 5月 22日

大阪国際フォーラム
会計監事 川越 一